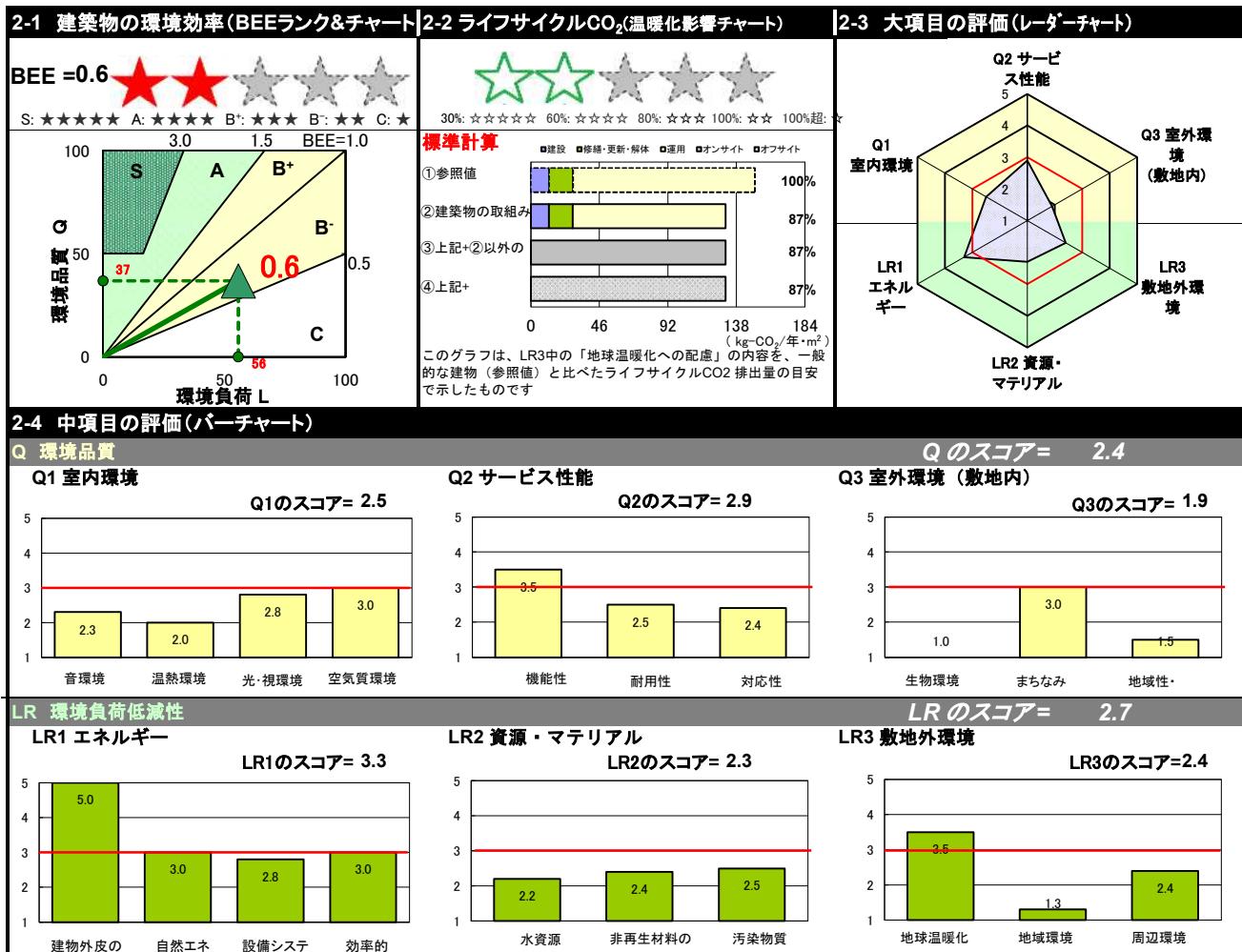


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)所沢山口計画	階数	地上3F地下2F
建設地	埼玉県所沢市大字山口字村中413番地	構造	RC造
用途地域	準住居地域、第一種低層住居専用	平均居住人員	384 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年7月8日
敷地面積	2,867 m ²	作成者	株式会社ファンテン
建築面積	1,169 m ²	確認日	2024年7月8日
延床面積	3,491 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
良好な居住性と周辺環境への馴染みやすさを目標とした。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
個室間の遮音性能は標準水準以上とし、室内の照度計画も不具合のないように計画した。	老人ホームという施設の性格上バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準を守り、さらに埼玉県の福祉のまちづくり条例を満たす計画とした。	出来る限り空地を確保した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
効率的な機器を採用した。	建築基準法に則った適正な躯体計画とした。	雨水流出対策を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)所沢山口計画**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				全体
配慮項目	実施設計段階	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境						
1 音環境						
1.1 室内騒音レベル		2.3	0.15	2.2	1.00	2.3
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		2.4	0.40	2.2	0.40	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		2.0	0.60	1.0	0.30	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	2.0	0.20	
2.0		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 溫熱環境						
2.1 室温制御		2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
1 室温		3.0	0.50	3.0	0.50	
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.57	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.25	3.0	0.43	
2.2 湿度制御		3.0	0.38	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.20	1.0	0.20	
1.0		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						
3.1 昼光利用		2.7	0.25	3.0	1.00	2.8
1 昼光率		3.0	0.30	3.0	0.30	
2 方位別開口		3.0	0.60	3.0	0.60	
3 昼光利用設備		-	-	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 昼光制御		2.0	0.30	3.0	0.30	
3.3 照度		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.4 照明制御		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.0		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						
4.1 発生源対策		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
1 化学汚染物質		3.0	0.50	3.0	0.63	
4.2 換気		3.0	1.00	3.0	1.00	
1 換気量		3.0	0.30	3.0	0.38	
2 自然換気性能		3.0	0.50	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		-	3.0	0.33		
4.3 運用管理		3.0	0.50	3.0	0.33	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.20	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
3.0		-	0.30	-	-	2.9
Q2 サービス性能						
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.2	1.00	3.5
1 広さ・収納性		3.0	0.40	5.0	0.60	
2 高度情報通信設備対応		-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		3.0	1.00	-	-	
3 内装計画		3.0	0.30	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3.0		-	0.30	-	-	2.9
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震・制震・制振		2.5	0.30	-	-	2.5
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.50	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
1 軸体材料の耐用年数		2.5	0.30	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		2.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.6	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		2.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	

		2.5	0.30	2.4	1.00	2.4
3 対応性・更新性		1.8	0.30	1.8	0.50	
3.1 空間のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
1 階高のゆとり		3.0	0.40	3.0	0.40	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.2 荷重のゆとり		2.8	0.40	-	-	
3.3 設備の更新性		2.0	0.20	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.10	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.20	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI]/[BEIm] = 0.84	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.3
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.5	0.20	-	-	2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		2.3	0.70	-	-	
1 消火剤		2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		2.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.4
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2が一般的な建物と同等	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮		1.3	0.33	-	-	1.3
2.1 大気汚染防止		1.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 韻音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 韵音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

(仮称)所沢山口計画

BEE

0.6

BEEランク

★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO₂の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.5

+

1.3

=

4.8



重点項目の各スコアの合計点

がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減

スコア平均 3.5

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.5

<配慮した内容を記述>

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 1.3

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア 1.0

Q3 室外環境(敷地内)

3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア 2.0

LR3 敷地外環境

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 1.0

<配慮した内容を記述>



: 入力欄